

直近の世論調査から見る政局 - その2

2008年5月14日 総研

今回のポイント

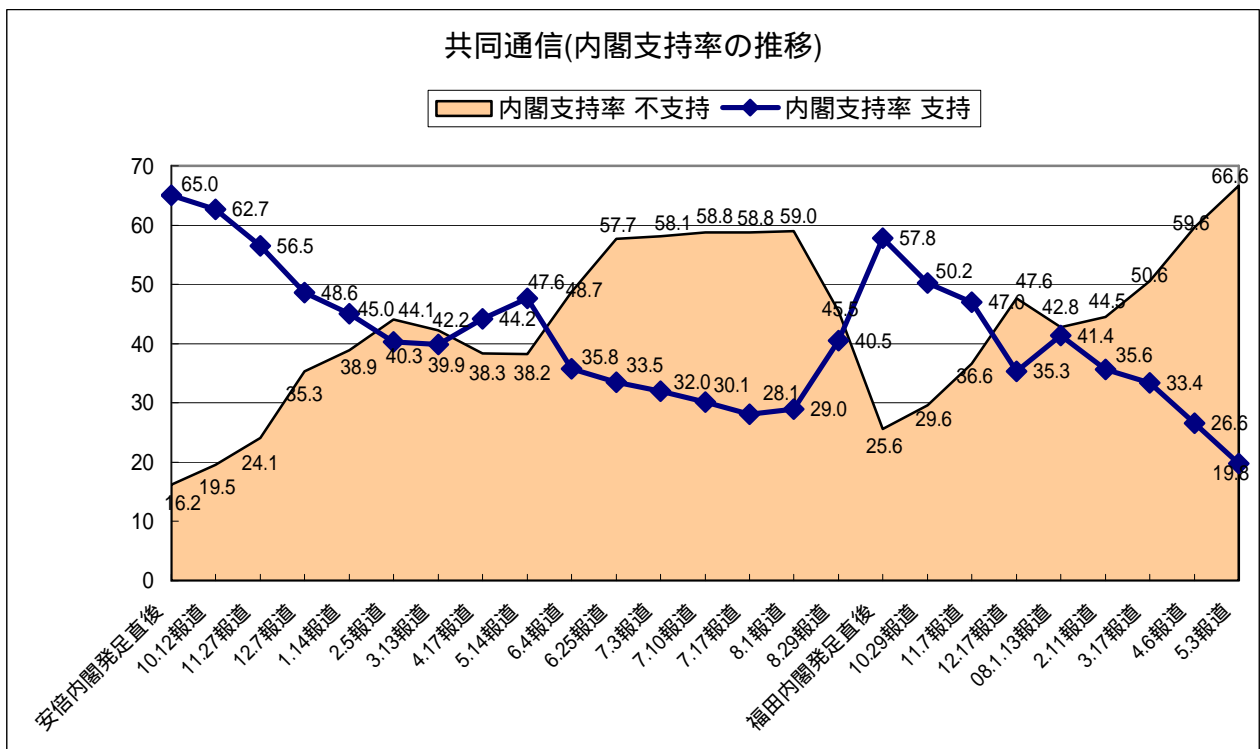
福田内閣の支持率...「絶対危険水域」(20%)に入る。
 (政党支持率)NHK世論調査史上初めて「民主27.1%が自民25.6%を上回る」。
 衆院全選挙区予測...「自公115議席減・過半数割れ」(週刊文春)など
 北海道新聞(4.23)では、民主に投票42%、自民には22%

1. 福田内閣の支持率...5月「絶対危険水域」(20%)に入る。

前回報告したように、4月に「危険ライン」30%を切った福田内閣の支持率は、5月に入って報道されたマスコミ調査では、毎日・共同・朝日で(選挙マニアの用語だが)「絶対危険水域」と言われる20%に入った。日経とNHKはかろうじて21%にとどまっている。また読売は、その政治的立場からか調査を実施していない(今までもよくあったことだが)。

毎日・5月3日報道(支持18%:不支持61%)、共同・5月3日報道(支持19.8%:不支持66.6%)、朝日・5月2日報道(支持20%:不支持59%)、日経・5月2日報道(支持21%:不支持68%)、NHK・5月12日報道(支持21%:不支持66%)

この内閣支持率は、安倍内閣の末期(参院選直前)にもなかったほどの低さである。ただし過去の歴代内閣支持率を見てみると、政権末期に最も低い数字を出したのは、竹下内閣(1987.11~1989.5)の一桁(5%前後)、次いで宇野内閣(1989.6~1989.7。わずか1ヶ月)と宮沢内閣(1991.11~1993.7)、森内閣(2000.4~2001.2)の10%前後という記録がある。竹下・宇野内閣は89年参院選での土井社会党の躍進を導き、宮沢内閣は自民党分裂・93年総選挙での大敗・細川連立内閣を誕生させた。森内閣も自由党が連立を解消して自公保連立となった時の政権だが、01年衆院選で大敗し、「自民党をぶっ壊す」と宣言した小泉内閣に交代した。いずれも劇的な政治変化を引き起こしてきた。



また「絶対危険水域」という用語(基準)は、選挙マニアが、過去の経験値から「内閣支持率+自民党支持率」が40%~50%にまで低下した状態の時に使われる。これで

計算すると、毎日（48%）、共同（44.2%）、朝日（44%）で、NHKは46.6%、日経は少し高くして54%だった。ちなみに安倍内閣の末期（7月）でも50%半ばかりから60%台の数値を出していた。道路財源特例法案の三度目の「再議決」や後期高齢者医療制度の矛盾など、福田内閣にとって否定的要因はまだ続くことから、マスコミも言うように「福田内閣の寿命は既に尽きている」。あと一押しだ。

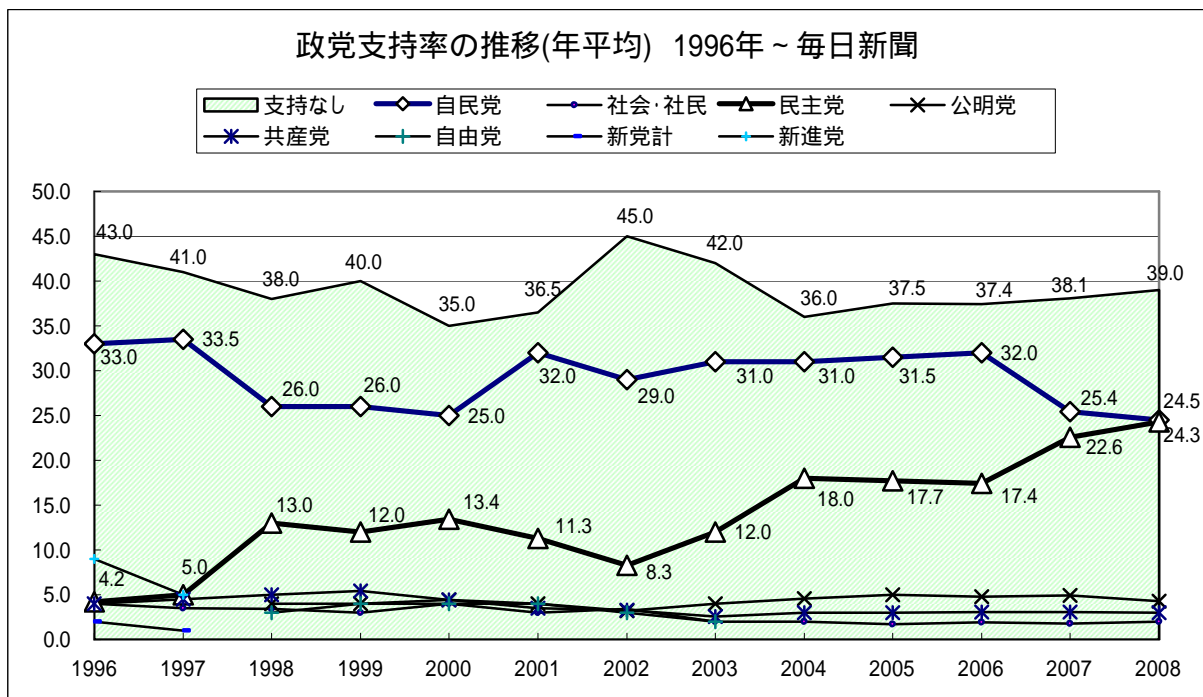
参考までに森内閣の末期は、（NHK）内閣支持率9% + 自民党支持率21.3% = 30.3%。

2（政党支持率）NHK世論調査史上初めて「民主27.1%が自民25.6%を上回る」。
...全紙が民主 > 自民。年間平均支持率(毎日)も五分に。

5月の調査で、民主党の支持率が自民党の支持率を上回ったのも、安倍内閣の末期以来のことである。なかでも特筆されるのは、NHKの世論調査でも民主党支持27.1%（前回比+10%）が自民党支持25.6%（同4%）を上回ったことである。大手マスコミ5紙とも安倍内閣の末期には民主と自民の支持率が逆転したが、NHKは別だった（ただし、読売が反転したのは参院選後だが...。当時も数字の操作が行われたと、その筋では騒がれた）。

読売やNHKなど、「右寄り」「体制側」などと言われる報道機関の調査は、これまでも「数値補正」という言い方で「若干の」バイアスをかけて公表されるのが常だった。今回、NHK調査でも「初めて（民主党が）自民党を上回りました」と控えめに報道しているが、NHK調査では安倍内閣末期にも民主と自民の支持率が逆転しなかったことを考えると、「NHK世論調査史上初めて」の大きな変化としてとらえることが出来る。近いうちに公表されるだろう読売の調査でも、おそらくこの傾向は変わらないはずだ。

前回は報告したが、民主党の支持率は昨年の参院選を境にワンランク・アップしている。過去にも、民主党（社会党）の支持率が自民党を上回ったことが幾度かあるが、それは89年参院選、98年参院選、03年衆院選（この時は接近）、07年参院選など、選挙の投票日直前に、無党派層が一時的に民主党や当時の社会党に肩入れして記録したものだ。今回は、「平時」において、大手マスコミの全てがこの記録を出していることは、民主党の基礎体力が確実にパワーアップしていることを証明している。前回紹介した毎日の年平均の政党支持率も、4月時点の自民26.0、民主23.0の3.0%差から、5月の数値を入れると自民24.5、民主24.3の0.2%差にまで縮まった。



世論の政権交代への志向性

読売	仮に衆院選で投票・比例	
	自民へ	民主へ
4.3報道	26.4	28.9
朝日		
5.2報道	22	39
毎日	勝ってほしい政党	
	自民	民主
3.3報道	34	44
4.7報道	36	40
5.3報道	24	51
共同	政権は	
	自民中心	民主中心
1.13報道	35.0	41.5
2.11報道	36.0	40.2
3.17報道	38.5	37.3
4.6報道	32.9	39.8
5.3報道	26.7	50.0

同時に調査された「国民世論の政権交代への志向性」調査でも明らかだ。「仮に衆院選で投票するとしたら(比例)」「勝ってほしい政党は」「政権は自民中心か民主中心か」などの調査でも、ほぼダブルスコアの差で、民主党に期待を寄せている。既に十数年前に、自民党の政治的寿命は尽きていた。それを救世主・小泉純一郎が、新自由主義的「改革」を旗印に、カンフル注射で蘇られたものの、そのカンフル注射は、郵政族など古い自民党支持層を離反させ、福田内閣ではさらに道路族をハギ落とし、年金や後期高齢者医療制度で伝統的支持層のお年寄りも自民党を見限ってきている。やはり、確実に「政権交代前夜」なのである。民主党には、この「敵失」を確実に固め直す、政権構想が必要なのだ。別掲で紹介した山口二郎氏(北大教授)の「再編期における政党政治と民意」をあらためて熟読されることをお勧めする。

3. 衆院全選挙区予測... (週刊文春)「自公 115 議席減。政権交代前夜」、(サンデー毎日)「民主大幅議席増も、自公過半数維持」、(週刊朝日)「福田首相の下では大敗」

選挙予想のプロたちも「政権交代前夜」を予告し始めた。定評のある3誌3氏の分析を紹介する。まず「週刊文春」(5月15日号)では、宮川隆義氏(政治広報センター)が選挙区予想をしている。その結果は「自公115議席減の衝撃。民主226議席『政権交代前夜』」。自民党は195議席と2百議席にも届かぬ大敗。民主党は226議席(倍増)で「政権交代が視野に入る躍進」。ただし宮川氏の予測方法は「過去のデータに偏って、選挙争点などの風向きを読むことが軽い」との評はある。良く言えば客観主義的なデータ分析を重視するタイプ。

宮川氏の予測...自民195(110)、公明26(5)、与党計221。民主226(+112)、共産10、社民9、国民新党4、新党日本1、新党大地1、野党計251。他に無所属が8。

衆院全選挙区予測(5月・週刊誌)

	現勢力	宮川予測	三浦予測	福岡予測	
				福田首相下	ポスト福田下
自民党	305	195	233	189	212
公明党	31	26	32	25	26
与党計	336	221	265	214	238
民主党	114	226	184	230	208
共産党	9	10	10	9	9
社民党	7	9	7	7	8
国民新党	4	4	3	5	5
新党日本	0	1	0	3	3
新党大地	1	1	1	1	1
野党計	135	251	205	255	234
諸派・無所属	9	8	10	11	8

「サンデー毎日」(5月4.11日号)の三浦博史氏(選挙プランナー)は、民主党が184議席(現114議席)と大幅に議席を増やすが、自民233議席、公明32議席、合計265議席で、与党がどうにか過半数を維持するとの予測を立てている。しかし三浦氏は、

かねてから自民党寄りの、立場がはっきりした、バイアスのかかった選挙予測をしてきたことでも有名で、昨年の参院選予測は「話にならないくらい大ハズレ」とけなされた人である。

三浦氏の予測...自民 233 (-72)、公明 32 (+1)、与党計 265。民主 184 (+70)、共産 10、社民 7、国民新党 3、新党日本 0、新党大地 1、野党計 205。他に無所属 10。

最後は「週刊朝日」(5月23日号)のおなじみの福岡政行氏(白鳳大学)は、福田首相で総選挙をやった場合と、ポスト福田で麻生新首相の下で総選挙をやった場合とに分けてシミュレーションを立てている。福田首相の下では自民 189 議席。公明 25 議席で、無所属を入れても、与党は 218 議席にしか達しない。しかしポスト福田で麻生新首相の下でやった場合は与党+無所属で 242 議席、一方の野党は 238 議席で五分五分としている。サミット後に福田内閣は総辞職をして、ポスト福田の新しい首相の下で、その賞味期限の切れないうちに総選挙を戦うのが自民党にとっては有力と見ているわけだ。

4. 北海道新聞調査(4.23 報道)では、民主に投票 42%、自民に投票 22%。

最後に、前回紹介できなかった北海道新聞の世論調査(4.23 報道)の概要を紹介する。政党支持率は、民主党が 29.5% (+2.6%)、自民党は 20.5% (-0.5%) となり、3月の調査よりも更に支持の差を広げた。

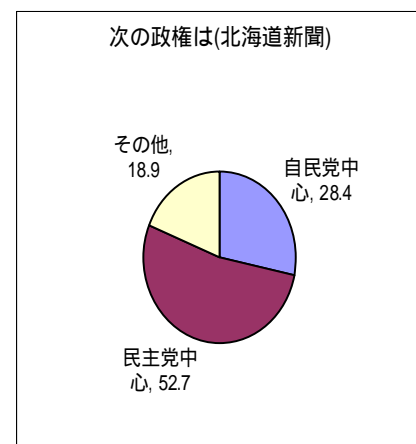
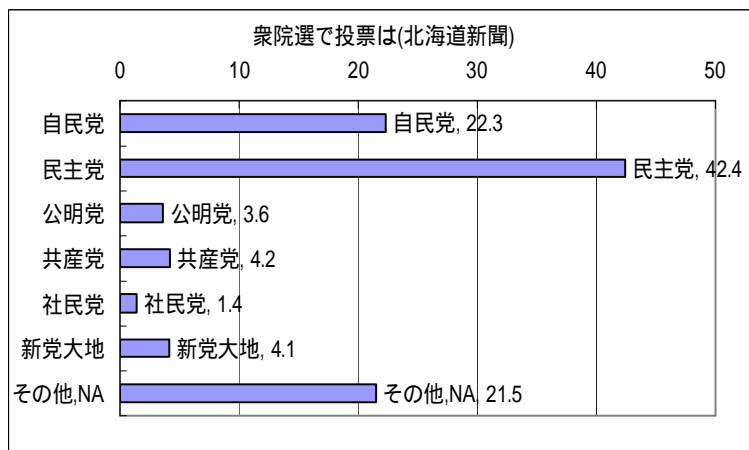
自民 20.5、民主 29.5、共産 3.8、公明 3.5、大地 3.1、社民 1、支持政党なしは 36.5。

福田内閣の支持率は、支持 19.1%、支持しない 52.4%と、5月の全国調査に先駆けて 20% を割り込んだ。

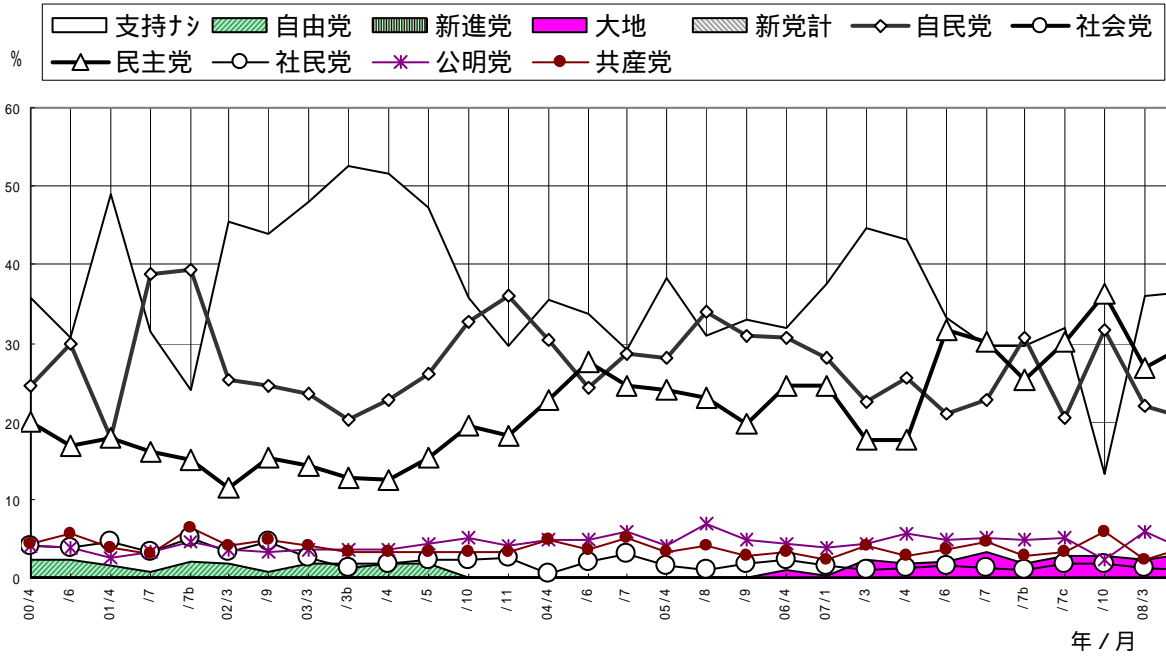
次の政権についても、自民党中心の政権が良い 28.4%、民主党中心の政権は 52.7%と大差で民主党に軍配が上がっている。

さらに次の衆院選で、どの党や候補に投票するかの問いには、自民党 22.3%、民主党 42.4%と、これも大差がついている。

今回の道新調査や全国情勢を踏まえると、道内の衆院選挙区でも、選挙プロや選挙マニアたちの間では、5区町村、11区中川、12区武部の3幹部も安穏と出来ない情勢になってきているとの認識が広がっている。先に紹介した「週刊文春」宮川氏の分析では、町村は「有利」、中川と武部は「苦戦」となっている(石川・松木は)。福岡氏の分析では福田首相下では5区も町村と小林が五分、12区は松木有利と見ている。情勢を活かした戦いをくみ上げることが出来るか、主体的な課題が問われている。



道内政党支持率の推移 2000年～



安倍 福田内閣の世論動向(2006年9月～2008年5月)

日経	内閣支持率		政党支持率			毎日	内閣支持率		政党支持率		
	支持	不支持	自民	民主	支持なし		支持	不支持	自民	民主	支持なし
安部内閣発足	71	17	55	18		安部内閣発足	67	16	42	16	28
10.30報道	68		51	20	14	11.27報道	53	22	33	15	39
11.28報道	59		51	20	16	12.12報道	46	30	31	17	39
3月調査	43	45	41	18	25	1.29報道	40	36	25	13	49
4月調査	53	37	43	21	20	2.26報道	36	41	26	13	49
5.28報道	41	44	41	23	20	3.26報道	35	42	27	14	47
6.25報道	36	52	35	26	21	4.30報道	43	33	29	16	42
7.22報道	27	50	29	30		5.28報道	32	44	25	19	44
8.1報道	28	63	29	44		7.2報道	32	52	25	18	43
8.29報道	41	40	35	36	14	7.27報道	31	53	22	24	34
福田内閣発足	59	27	43	31	13	8.6報道	22	65	17	33	35
10.29報道	55	31	38	32	15	8.27-28	33	52	26	26	36
11.13報道	55	33	42	28	16	9.12-13	29	58	27	29	32
12.17報道	43	46	38	34	12	福田内閣発足	57	25	32	26	30
08.1.13報道	42	46	36	30	16	10.22報道	46	30	27	27	32
2.18報道	40	48	39	31	16	12.18報道	33	44	26	27	35
3.24報道	31	54	40	30	15	08.1.21報道	33	45	28	24	37
4.21報道	29	59				3.3報道	30	51	26	23	39
5.2報道	21	68	33	36		4.1報道	24	57	24	22	41
						5.3報道	18	61	20	28	39
読売	内閣支持率		政党支持率				内閣支持率		政党支持率		
	支持	不支持	自民	民主	支持なし		支持	不支持	自民	民主	支持なし
安部内閣発足	70.3		49.4	16.0	26.2	共同	内閣支持率		政党支持率		
12.12報道	55.9	30.0	40.8	11.7			支持	不支持	自民	民主	支持なし
1.23報道	48.4	38.9	39.3	12.5	41.5	安部内閣発足	65.0	16.2	49.2	16.1	23.2
2.20報道	45.3	42.7	34.2	12.0	46.8	10.12報道	62.7	19.5	43.5	22.6	24.2
3.20報道	43.8	43.9	36.4	11.3	46.0	11.27報道	56.5	24.1	43.3	16.4	28.7
5.22報道	49.6	36.8	38.5	11.1	42.4	12.7報道	48.6	35.3	44.6	20.3	25.0
6.8報道	32.9	53.7	33.1	22.5	30.6	1.14報道	45.0	38.9	41.9	15.4	30.3
7.6報道	32.0	53.9	32.1	21.3	31.8	2.5報道	40.3	44.1	35.1	15.4	39.8
7.13報道	30.2	57.7	30.6	22.8	32.2	3.13報道	39.9	42.2	39.9	16.9	32.4
7.18報道	27.9	51.7	27.3	25.7	29.6	4.17報道	44.2	38.3	37.1	18.3	35.3
7.20報道	34.8	52.6	31.5	24.1	30.0	5.14報道	47.6	38.2	36.3	18.8	35.1
7.27報道	36.5	51.8	31.5	24.1	30.0	6.4報道	35.8	48.7	31.5	22.2	35.5
8.1報道	31.7	59.6	31.3	31.4	24.1	6.25報道	33.5	57.7			
8.7報道	27.2	63.7	25.8	26.9	38.7	7.3報道	32.0	58.1			
8.29報道	44.2	36.1	31.8	30.9	25.2	7.10報道	30.1	58.8			
9.11報面接	29.0	60.7	29.3	20.9	42.4	7.17報道	28.1	58.8			
福田内閣発足	57.5	27.3	37.6	24.4	27.6	7.22報道			32.3	16.4	35.1
10.10報面接	59.1	26.7	37.8	18.0	36.9	8.1報道	29.0	59.0	31.5	37.6	15.9
11.13報道	52.2	36.0	34.3	22.5	36.0	8.29報道	40.5	45.5	38.8	25.6	24.1
12.11報道	52.5	35.3	35.3	17.1	40.8	9.15報道	25.3		35.4	30.1	
08.1.16報道	45.6	41.6	35.5	16.9	40.7	福田内閣発足	57.8	25.6	38.4	28.2	20.0
2.19報道	38.7	50.8	32.6	20.0	40.4	10.29報道	50.2	29.6	35.5	31.1	23.9
3.18報道	33.9	54.0	33.1	17.6	41.9	11.7報道	47.0	36.6	38.2	27.5	23.5
4.3報道	28.0	57.7	27.3	22.9	38.9	12.17報道	35.3	47.6	25.2	28.5	36.0
						08.1.13報道	41.4	42.8	32	27	30.5
朝日	内閣支持率		政党支持率				内閣支持率		政党支持率		
	支持	不支持	自民	民主	支持なし		支持	不支持	自民	民主	支持なし
安部内閣発足	63	18				2.11報道	35.6	44.5	30.5	26.2	32.9
10月	63	14				3.17報道	33.4	50.6	31.6	22.7	35.3
12月	47	32				4.6報道	26.6	59.6	27.6	25.7	36.8
07.1月	39	37				5.3報道	19.8	66.6	24.3	30.3	34.4
2月	37	40									
4月1日	37	43									
5月12-13日	43	33	33	14	36						
5月19-20日	44	36	34	14	38						
5月26-27日	36	42	29	18	38	朝日	内閣支持率		政党支持率		
6月2-3日	30	49	28	17	43		支持	不支持	自民	民主	支持なし
6月9-10日	34	48	28	19	39	福田内閣発足	53	27	33	25	30
6月16-17日	32	51	27	17	40	10.16報道	47	30	32	24	30
6月23-24日	31	48	27	15	44	11.5報道	45	34	31	24	32
6月30-7.1	28	48	25	16	39	12.4報道	44	36	31	23	31
7月8-9日	31	51	26	20	33	12.21報道	31	48	27	25	33
7月14-15日	30	55	28	21	37	08.1.13報道	34	45	26	25	37
7月21-22日	30	56	23	22	37	2.5報道	35	46	30	24	34
7月30-31日	26	60	21	34	30	3.4報道	32	50	29	21	38
8月27-28日	33	53	25	32	29	3.31報道	31	53	31	20	39
9月13日			30	28	30	5.2報道	20	59	24	28	34